

農業環境資源情報を蓄積し発信する

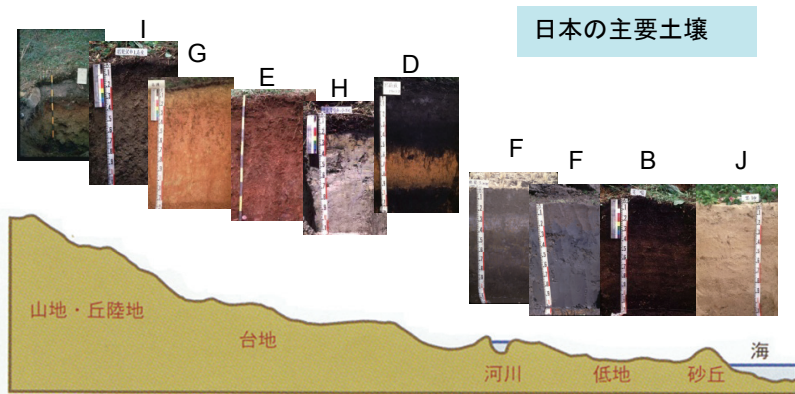
Storage of Information Involving Natural Resources in Agriculture and Public Announcement

環境資源分類リサーチプロジェクト

Research Project for Classification of Environmental Resources

農業に関係する土壌、微生物、昆虫等の環境資源である所蔵標本情報や分類情報などを蓄積し、主にwebにより外部に発信します。Information concerning natural resources in agriculture like soils, microorganisms, insects etc. has been stored as databases and announced mainly by web.

包括的土壌分類、第1次試案の開発 Development of the comprehensive soil classification system (ver.1)



日本の主要土壌

包括的土壌分類の構成

包括的土壌分類、第1次試案	
土壌大群	
A.	【造成土大群】
B.	【有機質土大群】
C.	【ボドゾル大群】
D.	【黒ボク土大群】
E.	【暗赤色土大群】
F.	【低地土大群】
G.	【赤黄色土】
H.	【停滞水成土大群】
I.	【褐色森林土大群】
J.	【未熟土大群】
下位カテゴリーと数	
土壌群	27
土壌亜群	116
土壌統群	380

日本の土壌分類体系は、国の各種の土壌調査事業と平行して作られてきたため、土地利用ごとの土壌(林野土壌、農耕地土壌等)の分類が作成されてきました。その結果、現在農耕地と林野で異なった土壌分類体系を使っており、両方の系について、環境問題などを考察する上で不都合が生じることが多く、分類体系を統一することが望まれていました。この問題を解決し、土地利用に関わらず、日本国内のどこでも同じ土壌名が使える、環境問題等に取り組む際に必要な区分を提供出来る「包括的土壌分類、第1次試案」(2011年3月発行予定)を開発しました。

農業環境中の微生物インベントリー Inventory of agro-environmental microbe

microForceのトップページ



さく葉標本目録トップ画面

標本名	収蔵件数
タイプ標本類	53
Sydnov 氏ら標本	254
一般さく葉標本	6660
日野氏プラザリ菌集標本	196
キノコ類標本	97
全標本	7260

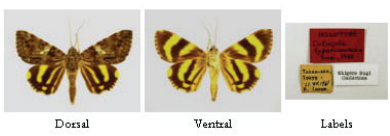
生態系のバランスを維持する上で大切な農業環境中の微生物の中には、学術的に貴重な新種や抗菌物質生産や毒素分解などの農業、医療等の産業界で有用な生物機能を持つものがあります。その様な微生物の情報は膨大であるうえ、必ずしも整理されていませんでした。そこで、多くの微生物情報を網羅的に整理して発信することを目的とし、微生物標本データ、除草剤分解菌、さらに人畜植物共通病原性ならびに環境修復等の機能を有する微生物に関する情報等の分散型データベースを作成し、「microForce」と命名してその一部をWeb公開してきました。それらの中から、カビ毒や難分解性物質分解菌などの特に有用であると思われる菌株や遺伝子について特許を9件申請しました。
<http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/microorg/publication.html>

昆虫タイプ標本のWeb公開 Announcement of insect type specimens by web

公開した昆虫タイプ標本データベースと画像



LEP-72
Catocala hyperconnexa Sugi, 1965
アミメキタバ
Holotype



タイプ標本とは、新種報告時に、その種名が指し示す唯一の個体として指定された標本のことで、世界に1つしかない貴重な標本です。国際動物命名規約により、相応の研究機関での管理が勧告されています。農環研が所蔵する合計947点の昆虫タイプ標本の情報をWeb公開しました。公開情報は、標本画像、標本ラベル画像のほか、標本ラベルに記入された採集地・採集日等の文字情報および新種が報告された文献情報です。侵入害虫の検出や生物多様性の評価など、あらゆる生物学的研究を支える分類学的研究の推進に不可欠であることから、世界中から容易に参照できるようWebで公開しました。